

5-① 身近なところに危険がいっぱい

■対象：乳幼児～小学校低学年の親

■時間：50 分程度

■手法：ピクチャーワーク

学習のねらい 身近な生活の中に潜む危険に気づき、子どもの安全に関する意識を高める。
準備するもの 宝カード 筆記用具 ワークシート【P.84】
 アドバイスタイム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	【はじめに】 今日、身近な生活空間の中に潜んでいる危険について、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。 その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
10分	【アイスブレイク】 ①たことたい〈P.98〉 ②宝探し〈P.99〉	・②は4人グループ分けの後、簡単に自己紹介をする。	宝カード
30分	《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》 【ワークショップ】 ①ワーク1を見て、危険箇所に○をする ②それぞれの考えを説明する ③これまでの経験から「ひやり・はっと」した場面を出し合う ④まとめ	・子どもの年齢によって考えられる危険は異なるが、危険の可能性として考える。 ・出にくいようであれば例としていくつか紹介できるように準備しておくとうい。	筆記用具 ワークシート(P.84)
8分	【ふり返りと分かち合い】 ①子どもの安全を守るために気をつけることをワーク2に書く ②全体で発表し合う	・書きにくいようであれば、心に残ったキーワードを書いてもらってもよい。 ・可能であれば、発表に対するコメントを言う。	
2分	【アドバイスタイム】 いかがでしたか？ 結構、意外なところに危険があるものですね。 子どもの行動は時として大人の予想を超えることがあります。室内だけでなく、外出の際にも身の回りに気を配ることが大切です。 文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。 ※資料 P.114「子どもの安全のために親が工夫しよう」 P.115「危険を知ることが、身を守ることにつながる」から状況に応じて読んで読む。 《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》		配付資料

5-① 身近なところに危険がいっぱい

①ワーク1を見て、危険箇所に○をする (5分)



ワークシートをご覧ください。今日は日常生活における身近な危険性について考えてみたいと思います。
そこにある絵の中で、子どもにとって危険だと思われる場所やものに○を付けてみてください。
何個でも結構です。

②それぞれの考えを説明する (15分)

それでは、みなさんどこに○を付けられましたか？
順番に1つずつ、○を付けたところとその理由を説明してください。



③これまでの経験から「ひやり・はっと」した場面を出し合う (9分)



みなさん、いろいろな危険を見つけましたね。
まだまだ、この絵のほかにも思いつく危険があるのではないのでしょうか。
そこで、これまでのお子さんの行動を思い出し、「ひやり・はっと」した経験について、グループで話し合ってみましょう。

④まとめ (1分)

(簡単なコメントなど)

〇〇さんの話は私にとっては本当に意外でした。そういうことも起こりうるかもしれませんね。

それでは、こうした危険から子どもを守るために、親はどんなことに気をつければよいと思いますか。

今日の学習をふり返って、ワーク2に書いてみましょう。



(危険箇所の例)



ワーク1

次の絵の中で、子どもに危険だと思う場所やものに○を付け、どんな危険があるのか考えてみましょう。



ワーク2

子どもの安全を守るために、親はどんなことに気をつけたらいいと思いますか。

